

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び
高質診療データベースの為のNCD長期予後入力システムの構築に関する研究

（研究分担者 岡本高宏・東京女子医科大学第二外科・教授）

研究要旨

NCDシステムを利用した甲状腺がん登録作業を構築し、平成28年1月より登録を開始した。また、甲状腺腫瘍診療ガイドラインの改訂作業を進め、まもなく公開する予定である。ガイドラインによって診療の標準化を図り、その効果を甲状腺がん登録で評価する取り組みが今後の課題である。

A. 研究目的

- (1) NCDシステムを利用した甲状腺がん登録作業を推進する。
- (2) 甲状腺腫瘍診療ガイドラインの検証作業、改訂作業を推進する。

B. 研究方法

- (1) 甲状腺がん登録の整備を図る。
- (2) 甲状腺腫瘍診療ガイドラインの改訂作業を完了する。

C. 研究結果

- (1)-1：甲状腺癌取扱い規約を改訂した(平成27年)
- (1)-2：NCD登録における甲状腺ケース・リポート・フォームに甲状腺がん登録項目を追加し、これを利用した甲状腺癌登録を平成28年1月1日より開始した(平成28年)。
- (1)-3：NCD事務局と協議を行い、予後情報システムの追加構築に向けて学会内で検討を行うこととした(平成29年)。
- (2)-1：甲状腺腫瘍診療ガイドラインの改訂作業を行い、完了した(平成29年)。
- (2)-2：ガイドラインの検証作業について準備を進めている(平成29年)。

D. 考察

- (1) NCDへの症例登録により甲状腺がん登録作業は自動的に行われるシステムを構築し、稼働している。今後の課題は、①現在、NCDを利用していない耳鼻科・頭頸部外科からの登録を可能にする仕組みを構築し、甲状腺がん登録のカバー率向上を図ること、②予後調査を可能にすること、③NCD登録に利用される手術術式(外保連試案に基づく)を現実の術式名に近づけるようにすること、④登録されたデータの活用を図ること、である。
- (2) 甲状腺腫瘍診療ガイドラインの改訂作業はほぼ終了した。今後、評価委員会の評価を経て、出版・公開を予定している。

E. 結論

甲状腺腫瘍診療ガイドライン(改訂版)の普及を図り、診療のアウトカムを評価できるよう甲状腺がん登録の精緻化と利活用が今後の課題である。